

～住みなれた地域の中で安心していきいき暮らす～

9月が高齢者保健福祉月間

高齢者福祉についての関心と理解を深め、高齢者自らの生活向上意欲を促すため、老人福祉法では、9月15日を「老人の日」、9月15日～21日までを「老人週間」と定めています。

県では、9月を「高齢者保健福祉月間」とし、さまざまな行事を行っています。

市では、すべての高齢者が住みなれた地域の中で、安心して心豊かに暮らせるよう、さまざまな施策を展開し、「笑顔あふれ安らぎに満ちたまちづくり」の実現を目指します。

《問合せ》 高年福祉課高年福祉係 ☎29-0055



イカの料理の仕方を教わる園児たち

気比区^{けい}高年クラブと 港保育園児との交流会

9月6日、港保育園（瀬戸）で、気比区高年クラブとの交流会が開催されました。

港地区高年クラブでは、毎月1回、港地区内各区のクラブ員が順に港保育園へ出向き、昔の遊びや伝統行事などを園児に教えたり、一緒に遊んだりしており、園児たちの人気のイベントとなっています。

当日は、気比区高年クラブ4人が園を訪れ、いるか組（3・4歳児）の28人がイカ干しを体験しました。園児らは、気比区のおばあちゃんに「お昼ご飯も一緒に食べようね」と、気軽に声を掛けるなど、なごやかな雰囲気で行われていました。

初めてイカ干しを体験した西村悠衣ちゃん（5歳）は、「今日を楽しみにしていた。うまく干せてよかった」とうれしそうに話し、気比区高年クラブの宇上安江さんは「家にも孫がいるので親しみが持てます。いつも子どもたちからは元気をもたらしています」と、笑顔で話していました。

豊岡市老人クラブ連合会 へのお誘い

21世紀は、高齢者が社会の担い手として、すべての世代と手を携え、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、地域社会に貢献する取組みが求められています。

豊岡市老人クラブ連合会は、高齢者が自主的に仲間づくりを進め、それぞれの地域の実態に即した組織づくりをし、相互に支え合い、楽しみを共にすることを基本としています。現在、242クラブ、11,254人が活動していますが、高齢者が増加するにもかかわらず、会員数は減少傾向にあります。魅力あるクラブづくりのため、会員の意識改革、活動の活性化、組織の強化に努めています。

皆さんも、老人クラブに加入し、「いきいきとした暮らし」を実現しませんか。

▽行事案内 グラウンドゴルフ大会（10月7日（木））、健康ウォークラリー（10月20日（水））

《問合せ》 豊岡市老人クラブ連合会 ☎23-0868

平成22年度兵庫県老人クラブ連合会長
表彰(優良老人クラブ)を受けられた
団体を紹介します

飯谷老人クラブ

飯谷老人クラブは、平成3年に結成しました。70歳以上の方は全員加入で、現在、45人で活動しています。

相互扶助の精神で、社会奉仕事業として公民館や神社、お寺の清掃活動や、地域クリーン作戦への参加のほか、子ども会との交流や子どもの登下校の見守り、遊びの安全確保などに取り組んでいます。1人暮らしの方や体調の悪い方のもとへは、会員がお見舞いに行き、安否を確認しています。



▲女性部の清掃活動。毎月実施

神美第三長寿会

神美第三長寿会は、現在、会員37人で活動しています。

この会では、グラウンドゴルフ同好会の設立に関わり、スポーツを通じての仲間づくりや新会員の増員に努めています。また、地域の集会場や子ども広場、通学路の草刈りなどのボランティア活動にも取り組んでいます。

また、盆踊り保存会を結成し、近年は特別養護老人ホーム「こうのとりの庄」や「とよおかの里」などを訪問し、おはやしや踊りを披露しています。



▲こうのとりの庄で盆踊りを披露

平成22年度兵庫県老人
クラブ連合会長特別感謝
(敬称略)

夫婦
日高町水上老人クラブ
木下一郎・佳江

夫婦ともに健康で、ボランテニアなど、地域への貢献活動に現在も活躍しています。

親子

日高町観音寺老人クラブ
水田喜太郎・善彦

親子ともに、地域活動に積極的に参加し、抜群の行動力でクラブをけん引しています。

長寿者祝福訪問

100歳以上：68人

市から、100歳以上の方に、県からは今年度満100歳の方に記念品贈呈、市社会福祉協議会からは、今年100歳になる(なった)方に祝金1万円が贈られました。

米寿者祝福訪問

大正12年生まれの方：53人

市社会福祉協議会から、額付き写真が贈られました。

市内の最高齢者と最高齢夫婦を中貝市長が訪問し記念品などを贈りました

最高齢夫婦(計191歳)今井保房さん・ゆきさん



市内の最高齢夫婦は、中郷在住の今井保房さん(98歳)・ゆきさん(93歳)です。4世代8人家族の今井さん夫婦は、市長が「2人で191歳ですね。2人おそろい

でお元気のこと、何よりです」と、お祝いの言葉を述べると、保房さんは「こんな所で市長さんに会えるなんて!」と大感激の様子。ゆきさんは「2人そろってられるのがうれしいです。好き嫌いなく何でもいただきます。掃除、洗濯もします。毎日仏壇に手を合わせて感謝しています」と元気に話していました。

最高齢者(109歳)北村よしさん



市内の最高齢者は、とべの介護老人保健施設「豊岡シルバーステイ」に入所されている北村よしさん(明治34年生まれ)です。よしさんが市内最高齢者として中貝市長の祝福訪問を受けるのは4回目。市長が「昨年と変わらずお元気ですね」と声を掛けると、昨年よりもむしろ元気に「ありがとうございます」とお礼の言葉が返ってきました。

好き嫌いなく何でも食べ、毎日、朝食後にリハビリをして、規則正しい1日を過ごしています。薬も服用せず、とても健康です。